



3月2日(土)

しいたけ植菌体験

し

いたけ植菌体験(主催:伯耆町豊かな森づくり実行委員会)が、3月2日、二部公民館で開催され、町内外から約50人の参加がありました。

日本きのこセンターの西澤則之さんから、森林の恵み・役割についてお話を聞いた後、植菌を体験しました。

植菌体験では、親子で話しながら協力し、ドリルで穴を空けた原木にしいたけの菌を植え込んでいました。

植菌体験終了後には、以前この事業で植菌し栽培した椎茸を使い、地元の特産品生産グループのつくしの会が料理した五目御飯やみそ汁などを食べ、参加者は、楽しい時間を過ごしている様子でした。



▲森林の恵み・役割についてお話を聞きました



▲しいたけの菌を原木へ植え込みます

3月21日(木・祝) 伝統の春の市 〜春の彼岸市開催〜

溝

口地区恒例の溝口春の彼岸市が3月21日(木・祝)、JR伯耆溝口駅を中心に開催されました。

この市は、大正14年から続く伝統行事で毎年春分の日に行われています。

歩行者天国となった溝口の町中に屋台が立ち並び、メイン会場の溝口駅前では、鬼面太鼓や傘踊り、神楽などのステージイベントが行われたほか、伯耆町商工会のバザーやシルバー人材センター、地元企業の出店などがあり、大勢の人で賑わいました。

また、彼岸市にあわせて開催された溝口公民館まつりでは、同好会の作品展示や工作教室が開催されたほか、JA西部女性会による農産物の販売、食生活改善推進協議会による減塩メニューの提供などが行われ、多くの人が彼岸の祭りを楽しんでいました。



▲同日開催の溝口公民館まつりも多くの人でにぎわいました



▲鬼面太鼓が彼岸市のオープニングを飾りました

